

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	胚盤胞培養 7 日目の胚の観察による有用性
研究責任者	聖隷浜松病院 産婦人科 松本 美奈子
研究実施体制	聖隷浜松病院 臨床検査部 H・ART ユニット 村松 正子
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2022 年 11 月
対象者	2013 年 9 月～2022 年 11 月までに H・ART 外来にて採卵、胚盤胞培養を行い、通常の 6 日までに胚盤胞に到達しなかった胚を対象とします。 (受精・分割しなかった胚は対象外とします。)
研究の意義・目的	現在、胚盤胞培養は 6 日目までであり、それまでに胚盤胞に到達しなかった胚は発育不良としています。しかし、培養液の進歩等により、7 日目の胚盤胞にて妊娠したことが他院にて報告されています。そのため当院の培養環境下でも 7 日目に妊娠可能な良好胚盤胞が得られるか観察、確認を行います。
研究の方法	通常 6 日目の胚盤胞培養を 7 日目まで継続培養し、観察を行います。 観察は倒立顕微鏡にて 2 名の技師にて 7 日目の胚を形態学的に確認、Gardner らの分類にて評価します。 今後、7 日目の胚盤胞でも凍結胚移植可能となるか検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 臨床検査部 H・ART ユニット (氏名)村松 正子 TEL:053-474-2222(代表) H・ART ユニット 10:00～15:30 平日